

地域連携室

地域連携副室長 武田 美幸

1 部門目標

- 1) 地域に密着した医療サービスを提供するため、地域医療機関との情報交換や連絡調整を行い、病診連携・病病連携を推進する。
- 2) 入退院支援の相談機能の充実
 - ・病棟担当制 看護師/社会福祉士
 - ・入院前からの支援強化

2 業務体制・スタッフ

室長（医師）1名

看護師3名（副室長1・主任2）

社会福祉士3名

非常勤事務員4名

3 業務実績

(1) 病診連携

表1. 年度別紹介患者統計（件）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
紹介患者登録	9330	9394	8718	9214
千葉市内	7513	8066	7320	7542
登録医	2979	2812	2522	2586

表2. 医療機器の共同利用

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
MR	229	260	180	207
CT	65	98	83	50
内視鏡	51	48	18	20
脳波	107	90	102	91

表3. 予約方法（件）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
FAX予約	1657	777	599	448
電話予約	1753	2880	3313	3379

表 4. 紹介率と逆紹介率の推移 (%)

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
紹介率	59.6	66.9	65.3	68.7
逆紹介率	89.7	73.5	52.0	49.3

表 5. 登録医と紹介医療機関数 (施設件数)

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
登録医療機関	192	178	170	168
紹介医療機関	978	995	1056	1120

(2) 相談対応・退院調整

表 6. 対応件数

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
入退院支援加算 1		779	468	507
入院前介入				62
入退院支援加算 3		204	185	199
退院時共同指料 (うち 3 者以上)		11 (2)	13 (1)	25 (8)
介護支援等連携指導料		185	203	111
連携機関・事業所との面会		284	359	313
FAST 件数	47	106	115	139
助産施設利用件数	17	28	19	29

* H30 年度より、相談件数の統計方法変更あり

(3) 地域医療支援病院に関する業務

医療法に基づき、地域医療支援病院運営委員会を開催。施設要件である地域への医療関係者に対する研修・講演会開催広報を行った。

表 7. 平成 30 年度地域医療支援病院運営委員会

第 1 回 平成 30 年 7 月 11 日	地域医療支援病院実績報告 他	外部委員 8 名 内部委員 8 名
第 2 回 平成 31 年 2 月 21 日	地域医療支援病院実績報告 他	外部委員 6 名 内部委員 9 名

表 8. 平成 30 年度 地域の医療従事者等に対する研修・カンファレンス実績

公開カンファレンス	小児・内科他 全 9 回	院外参加者 115 名 院内参加者 166 名
公開講演会・研修会	3 回	院外参加者 21 名 院内参加者 354 名
周産期新生児イメージカンファレンス	3 回	院外参加者 36 名 院内参加者 18 名
感染防止地域連携合同カンファレンス	4 回	院外参加者 28 名 院内参加者 16 名

平成 30 年度より新たに連携医の会を開催（公開カンファレンスを含む）

（４）その他の活動

千葉県がん診療連携協議会（院外）への参画

千葉県児童虐待対策研究会（院外）への参画

千葉市要保護児童対策実務者会議（院外）への参画

地域医療推進委員会（院外）への参画

各区地域医療介護推進会議（院外）への参画

美浜区連携の会（院外）への参画

4 1 年間の総括

紹介率 65%以上、逆紹介率 40%以上の地域医療支援病院の施設要件はクリア出来ているが、逆紹介率が更に下がってしまった。逆紹介率の精度を上げたことも要因のひとつと考える。毎年の低下については自施設完結型の診療の増加で母数の増加による影響も誘因と考えるが、今後の課題となる。

CT・MRI・上部内視鏡検査・脳波検査については、医療機器の共同利用として地域医療機関へ開放しており、検査予約を受け付けている。

当院の登録医は、開院当初からの地域の医療機関との共同診療システムであるが、ここ数年の利用はない。平成 29 年は新規登録医療機関がなく閉院した診療所もあり減少傾向にあったが、平成 30 年度は 4 つの医療機関の新規登録があった。紹介医療機関は大きな減少はなく、地域との医療連携は定着してきている。紹介状のある患者さんからの事前診療予約の電話も定着し、紹介元の医療機関の負担軽減につながっている。電話予約の増加に伴い、FAX 予約は減少傾向している。

平成 30 年度の診療報酬改定にて、入院前からの退院支援が推奨となり、連携室でも多職種連携を強化、また院外においては、在宅療養を支える往診医師、訪問看護師、地域包括（千葉市あんしんケアセンター）介護支援専門員との協働による入退院支援を強化している。退院前カンファレンスも定着し地域包括システムを見据えた退院調整を継続する事が出来た。

また当院は、夜間応急診療や小児・周産期医療体制が充実し助産施設でもあることから、児童相談所保護下の子供の受診相談や特定妊婦に関する相談、夜間応急診療からの急迫保護依頼など連携先や相談内容も多岐にわたり対応出来ている。

5 今後の目標

- ・紹介率・逆紹介率の向上を目指し、地域医療機関に対し各診療科の特徴や紹介予約等の情報発信に努める。
- ・院内外の多職種との関係構築を充実させ、入院前からの退院支援体制の強化に努める。
- ・近隣のクリニック、連携医療機関への訪問を行い、顔の見える関係を構築していく。